

2016年 明石工場 環境報告書

Akashi Plant Sustainability Report 2016

1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」を追求してきた富士通グループは、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、FUJITSU Wayの企業指針「社会に貢献し地球環境を守ります」に基づき、環境経営に取り組んでいます。



構内緑地

1. ごあいさつ

明石工場は、1968年に関西地区の重要拠点として開設しました。開設当初からの緑を今も残し、自然あふれる事業所として操業を続けています。昨年は、建屋稼働率の増、設備更新時の都市ガス使用量の増に伴い、エネルギー使用量が増加しましたが、省エネ設備の導入・運用改善等の取り組みにより、エネルギー増加量の縮減を図っています。また、「富士通春まつり」「クリーンアップ活動」「環境出前授業」など、社会貢献活動および地域住民の方々との交流を継続すると共に、蛍の里を目指したビオトープ整備を推進しています。今後も、明石工場内のすべての従業員が、「クリーンな事業所」また、「地域社会に貢献出来る事業所」を目指して、環境活動の取り組みを続けて行きます。



富士通株式会社
明石工場長
後藤 公平

2. 事業所の紹介

■ 富士通明石工場

- 所在地 : 兵庫県明石市大久保町西脇64
- 開設 : 1968年8月
- 勤務者数 : 1,752名 (2016年3月現在)
- 敷地面積 : 197,473.9m²
(甲子園球場の約5個分)

明石工場内組織

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| 富士通株式会社 | 富士通アプリコ株式会社 |
| 富士通アプリケーションズ株式会社 | 富士通エフ・アイ・ピー株式会社 |
| エフネットサービス株式会社 | 富士通周辺機株式会社 |
| 富士通クオリティ・ラボ株式会社 | 富士通特機システム株式会社 |
| 富士通特機コンポーネント株式会社 | 富士通テンテクノロジー株式会社 |
| 富士通テン株式会社 | 富士通ファシリティーズ株式会社 |
| 株式会社 富山富士通 | 富士通リフレ株式会社 |
| 富士通ホーム & オフィスサービス株式会社 | |

(その他 グループ外 5社)

3. 環境活動

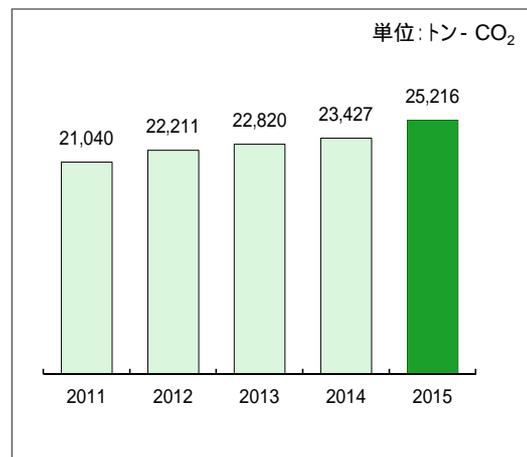
■ エネルギーCO₂排出量管理

■ 2015年度実績 ; 25,216トン-CO₂ (目標;25,273トン-CO₂以下)

- ・ 建屋稼働率UPに伴う電力量の増や、電気式空調設備の更新に伴い、ガス式空調設備の代替運転で都市ガス(CO₂排出係数が高い)を使用することにより排出量が増加しましたが、工場内の各社・各部門が一丸となり、省エネの推進・節電施策を実施する事で、増加量の縮減を行っています。
- ・ 省エネ型設備の導入や空調設備の運転効率化を図り、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。
- ・ 事務所、廊下、会議室など、業務に支障の無い範囲で、また健康面や安全面に配慮し、蛍光灯の間引きを行なっています。

1 富士通グループのCO₂換算値で算出

■ エネルギーCO₂排出量推移¹



■ 総廃棄物排出量管理

■ 2015年度実績 ; 253トン (目標;256トン以下)

- ・ 2014年度より変動した理由は、事業統合に伴う資産廃却品の増により、総廃棄物量が増加しました。
- ・ 従業員一人ひとりの環境意識の向上を図り、分別廃棄の徹底、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進など、廃棄物の総排出量削減活動を行なっています。
- ・ 減容機にて梱包材(発泡スチロール)を加熱脱泡圧縮固化して、利用可能な再資源品として減量化を図っています。(固形量;759kg)
- ・ 社員食堂から発生する残飯や残食材は、工場内で有機肥料化して一般廃棄物の減量化を図っています。(肥料生産量;2,490kg 構内緑地への施肥、イベントでの配布)

2 廃棄物を有効に活用し、単純焼却・埋立処分廃棄物をゼロにする

■ 廃棄物排出量推移



資源ステーション全景



生ごみ処理機



減容機



圧縮された梱包材

■ 化学物質大気排出量推移



対象物質: アセトン

■ 化学物質大気排出量管理

■ 2015年度実績 ; 190kg (目標;241kg以下)

- ・ 明石工場内で使用している化学物質の中で、使用量が多いアセトンについて大気排出量の管理を行っています。昨年は、異種金属接合業務の計画変更や廃液回収の徹底により、排出量が減少しました。現在、増産時の対策として代替薬品の選定や回収設備の新規導入などを検討しています。

4. 環境社会貢献活動

■ 社会貢献活動

■ 通勤路ボランティア清掃活動(クリーンアップ活動)

- ・ 従業員による工場から大久保駅までの通勤路の清掃活動を、就業時間後にボランティアで実施しています。

2015年度は6回実施し、延べ人数227名が参加しました。
約26.5kgのゴミ(雑ゴミ:15.9kg 空き缶:4.5kg ペットボトル:3.6kg
空き瓶:2.5kg)を回収しました。



クリーンアップ活動



ため池クリーンキャンペーン

■ ため池クリーンキャンペーンの参加

- ・ 江井ヶ島ため池協議会主催による皿池の清掃活動に明石工場からは8名が参加しました。
“都市に残された貴重な自然と、水辺空間は地域で守ろう！”をスローガンに、ため池管理者の農家の人たちと地域住民の人たちが協働して、清掃活動を行いました。

■ 地域コミュニケーション

■ 富士通春まつり2015

- ・ 毎春、地域社会への貢献及び交流と従業員とその家族の慰安を兼ねて工場を開放し、ステージショーや屋台、各種出展を実施しています。

2015年は、雨天でしたが、約2,500人の方々が来場されました。環境ブースでは、楽しみながら廃棄物の知識を会得する「輪投げDEクイズ」を実施し、多数の小学生に参加いただきました。また、例年ケーヨーデイツー様と行っています花のポットと、食堂残食から作った有機肥料の配布も好評でした。



富士通春まつり2015

■ やまてまつり

- ・ 山手校区連合協議会主催の「やまてまつり」に参加しました。小学生を対象に「環境プチ教育」と「環境エコクイズ」を行いました。今後も継続的に参加し、新たな企画を計画中です。



やまてまつり

■ ウィンターイルミネーションの実施

- ・ 地域住民の方々や従業員の癒しとして、1997年より実施しています。今年から、名称をウィンターイルミネーションと変更し、12月初旬から1月末までの期間、正門付近に設置しています。



ウィンターイルミネーション



ビオトープ

■ 生物多様性保全活動

■ ビオトープ整備

- ・ 東側緑地帯で「蛭の里」の整備をしています。うっそうとした林を整備し、人口の池や小川を造成し、幼虫やえさとなるカワニナを放流しました。15年度は蛭十数匹の飛翔を確認できました。

■ その他の活動など

■ 明石市花壇コンクールへの参加

- ・ 第76回 明石市花壇コンクールにて「明石市長賞」を受賞しました。今回のテーマは「機関車と80周年」でした。支給される苗で構図を考え、花を育てて応募しています。(明石市花壇コンクール 2010年度から連続入賞)



花壇コンクール



花壇コンクールの賞状

■ 緑のカーテン

- ・ 毎年、食堂南側に緑のカーテンを実施しています。今年も、ゴーヤを栽培し、従業員に配布しました。

緑のカーテンは、葉による断熱効果で、省エネになります。



緑のカーテン



鯉の池

■ 鯉の池

- ・ 空調用冷却タワーの跡地を利用した人工の池を作り、鯉を放流しています。毎年、産卵し稚魚が生まれています。

5. 安心・安全な工場への取り組み(法規制の順守状況)

■ 騒音・振動の測定

敷地境界で定期的に測定し、法令基準値を順守していることを確認しています。

<近隣騒音の防止への取り組み>

近隣住民の方から、構内工事・緑地剪定について騒音に伴うご指摘がありました。即時の対応を実施しました。

日頃より、騒音については予め対策を実施しておりますが、ご指摘いただいた内容を精査し、さらに低減の取り組みを推進致します。(法令基準値の超過はございません)

■ 大気汚染防止の取り組み

ボイラー、吸収式冷凍機の排ガス測定は、年6回実施しています。

以下の表は、2015年度の排ガスの代表的測定項目の最大値を記載しています。

物質名	硫黄酸化物	窒素酸化物	ばいじん
環境保全協定値	0.1 (ppm/時)	0.525 (t/月)	0.1 (g/Nm ³)
測定値	< 0.01 (ppm/時)	0.125 (t/月)	0.001 (g/Nm ³)

■ 環境保全協定値の順守状況

2015年12月1日、工場排水口にて浮遊物質の協定値超過(協定値;14mg/L→測定値;15mg/L)が、一時的に発生しました。要因は深井戸の汲み上げ水に含まれる鉄分・シリカが時間の経過により酸化し、沈殿物が発生し協定値を逸脱したものです。現在、既設設備を活用することで浄化する仕組みを構築しており、協定排水基準の順守に努めています。

6. その他の情報

- ISO14001 富士通グループWORLD-WIDE統合認証 2016年2月に継続認証されました。

富士通明石工場環境方針

■ 理念

明石工場は、瀬戸内海へ面している自然の中で、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識して、入居各社それぞれが、開発・製造・修理・保守、およびアウトソーシング事業など様々な業務を行なう複合拠点です。すべての社員が「クリーンな事業所」また、「地域社会に貢献出来る事業所」を目指し、さらに、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続していきます。

当工場は、富士通グループの環境方針および環境行動計画を踏まえた、環境マネジメントシステムに基づいて、環境保全活動に取り組み、以下の行動指針の下、全社員で推進します。

■ 行動指針

- 当工場の事業活動に係る環境側面を常に認識し、環境汚染の防止を推進するとともに、ISO14001に準拠し、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- 当工場の事業活動に係る環境関連法規、規制、協定、およびその他の要求事項を遵守します。また、環境に大きく影響を与える大気汚染・水質汚濁・騒音・振動は自主管理基準に基づく適正管理を行うとともに地域住民および当工場社員の安らぎをはかる緑化率を維持します。
- 環境方針の達成のために環境目的・目標を策定し、当工場および当工場内グループ会社の社員に周知させ、環境マネジメントを推進するとともに、当工場の「環境管理推進委員会」にて、状況に応じて目的・目標の見直しを行います。
- 当工場の事業活動において、環境に影響を与える次の項目を重点テーマとし、活動を推進します。
 - ・エネルギー消費CO2排出量の増加量縮減
 - ・総廃棄物量の削減および有効利用によるゼロエミッションの継続、維持
 - ・地域の持続可能性と社会への貢献
 - ・社会との協働
 - ・重点化学物質の大気排出量管理

お問い合わせ先

富士通株式会社

明石工場 総務部
〒674-8555 兵庫県明石市大久保町西脇64
TEL : 078-934-8309 FAX : 078-935-4880

発行責任者 後藤 公平
編集責任者 和田 誠二
発行年月日 2016年6月24日
記載事項対象期間 2015年4月～2016年3月

